

日本語JPドメイン名

2001.10.3

堀田 博文

hotta@jprs.jp

JPRS (株式会社日本レジストリサービス)

日本語JPドメイン名の誕生

EXAMPLE.CO.JP

既存JPドメイン名

- 組織種別の区別（資格審査）
- 1組織1ドメイン名
- 国内を対象
- 第3レベルドメインへの登録
- ASCIIのみ

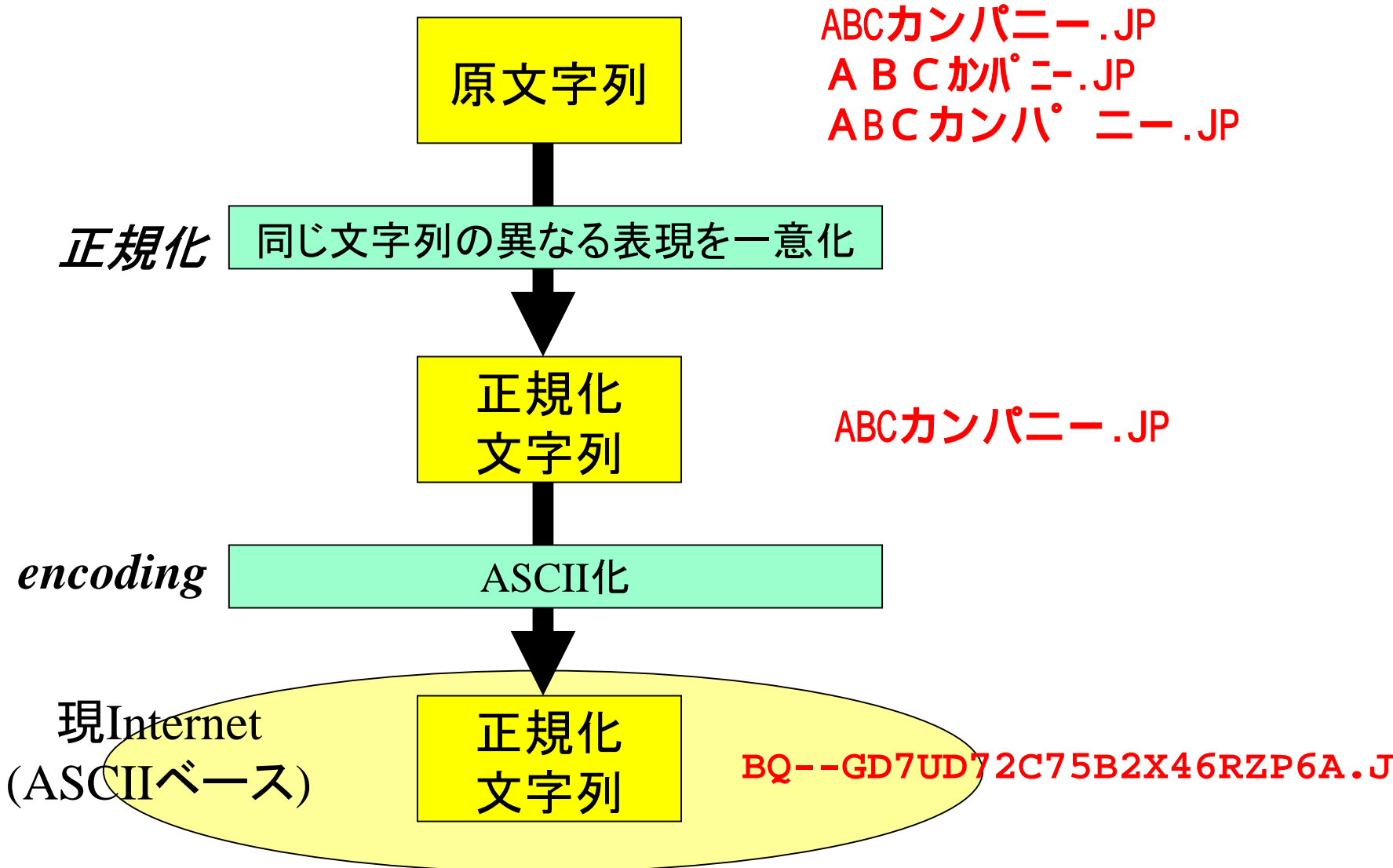
(2001.2.22～)

EXAMPLE.JP
実例.JP

汎用JPドメイン名

- 法人/個人等誰でも登録可能
- 登録数の制限なし
- 国内を対象
- 第2レベルドメインへの登録
- **日本語ドメイン名も登録可能**

国際化ドメイン名 (IDN) 関連の主な技術



.JPで採用している主なIDN技術

◆ 正規化

- 全角英数字とASCII
 - 「JPRS」と「JPRS」
- 半角カナと全角カナ
 - 「ニック」と「ニック」
- 濁点、半濁点の合成
 - 「シ[゜]ェーピー」と「ジェーピー」

◆ *encoding*

- 非ASCII文字をASCII文字（英数字・ハイフン）のみで表現する方式（現状、RACE）
- 既存のDNSで実現可能
- DNSプロトコル、既存のアプリケーション等への影響が小さい

JPドメイン名として登録できる日本語文字

- ◆ 文字数は最少1文字、最大15文字
- ◆ JIS X 0208-1990で規定された以下の文字
 - 平仮名、片仮名
 - 第一・第二水準漢字
 - 一部の記号
 - 「・」「\」「ゞ」「ゝ」「ゞ」「々」「ー」
- ◆ ASCIIの以下の文字
 - 英字(A-Z)、数字(0-9)、ハイフン(-)
- ◆ .comと.jpでの違い
 - 当初、「々」「づ」「ヴ」「ヰ」「ヱ」「ヅ」の扱いなどにも違いがあったが、JPNICとVGRSが擦り合わせた結果かなりの差異が解決
 - ただし下記差異が残る
 - 「●」、はしご高の「高」などが.comでは登録可能
 - 複数国語が混ざった名前が.comでは登録できる

日本語ドメイン名の導入に関わる課題(1)

◆ 商標関連問題が増加する可能性

- 商標、商号は日本語が多く、ドメイン名との衝突・類似という問題が増加
- 受付開始直後に申請が集中することによる混乱の助長
- JPDドメイン名での問題防止策
 - 予約語ドメイン名の設定
 - 登録開始の経過措置としての事前登録申請制度
 - ◆ 優先登録申請(02/22～03/23)
 - » 既存JPDドメイン名と同じ文字列(第1区分)
 - » 登録商標、登記された名称(商号等)、個人名等(第2区分)
 - ◆ 同時登録申請(04/02～04/23)...(第3区分)
 - » 登録資格制限なし
 - » 当該期間に出された申請は同時とみなし、抽選を行う
 - 紛争解決ポリシー(JP-DRP)
 - ◆ 既存ドメイン名と同様の紛争解決

日本語ドメイン名の導入に関わる課題(2)

- ◆ 既存のドメイン名と区別可能な識別子が必要
 - 区別できなければ逆変換できない
 - 識別子のつけ方、識別子の決め方が課題
 - 識別子を含めてASCII文字列のため、従来のドメイン名として登録可能
→提案された瞬間に登録される可能性
 - この問題は実際に.com等のgTLDで発生(2000年11月)
 - JPドメイン名での解決策
 - 「* * - -」、「- - * *」などACEアルゴリズムが使う可能性のあるprefixとpostfixをもつ文字列をASCIIドメイン名としては登録不可能とする

予約ドメイン名（日本語）

当面の間、登録申請を受け付けないドメイン名

- ◆ 都道府県、政令指定都市、県庁所在中核都市の名前
- ◆ 平仮名、片仮名、漢数字、長音記号等の1文字
 - あ、イ、五、一、...
- ◆ 初等中等教育機関等の名称（小中学校などの名前）
 - 「小学校」「中学校」「高等学校」等の名称で終わる名前
- ◆ 国際的な政府間機関（国連など）の名称
 - 「予約ドメイン名リスト（国際的な政府間機関）」参照
- ◆ 行政・司法・立法に関連する名称
 - 「予約ドメイン名リスト（行政・司法・立法に関連するもの）」参照
- ◆ 日本語普通名詞
 - 「予約ドメイン名リスト（日本語普通名詞）」参照
- ◆ JPNICの業務で必要とする名前
 - ジェイピーニック、ドメイン名、日本語ドメイン名、...

申請数(優先登録申請)

分類		ASCII	日本語	計
第1区分		34,700	0	34,700
第2区分	商標	8,300	11,900	20,100
	商号	0	12,400	12,400
	個人名	200	600	800
	ac.jp	0	400	400
計		43,200	25,400	68,500

注) 数値は、10の位を四捨五入

登録ドメイン数(優先登録申請)

分類	ASCII	日本語	計
重複申請あり	2,500	800	3,300
重複申請なし	36,900	21,800	58,800
登録数計	39,500	22,600	62,100

(参考)

申請数計	43,200	25,400	68,500
------	--------	--------	--------

注) 数値は、10の位を四捨五入

申請数と登録数(同時登録申請)

分類		ASCII	日本語	計
申請数	重複あり	32,500	41,700	74,200
	重複なし	22,600	23,400	46,000
	計	55,100	65,200	120,300
ドメイン数	重複あり	4,600	5,200	9,800
	重複なし	22,600	23,400	46,000
	計	27,200	28,600	55,800

注) 数値は、10の位を四捨五入

汎用JPドメイン名登録数(2001.9月末時点)

分類	ASCII	日本語	計
優先登録申請 2001.2.22～2001.3.23	39,500	22,600	62,100
同時登録申請 2001.4.2～2001.4.23	27,200	28,600	55,800
先願登録申請 2001.5.7～2001.9.30現在	17,000	5,000	22,100
総登録数	109,300	61,100	170,400
参考) 既存ドメイン名 ～2001.8.31現在	272,000	0	272,000

注) 数値は、10の位を四捨五入

日本語ドメイン名の展開にあたって

DNA

日本語ドメイン名
利用環境促進

PNIC

技術開発・展開

PRS

ドメイン名登録業務

ホスティング
等のサービス
充実

ブラウザや
メールが
日本語に対応

相乗効果

日本語ドメイン名の利用者増
(利用ノウハウ蓄積、市民権獲得)

日本語ドメイン名が動作する仕掛け
技術開発、技術標準化、技術コーディネーション

日本語ドメイン名促進施策

- ◆ 標準化の促進
- ◆ JDNAによるアプリケーション開発・展開
 - 標準化後の環境整備促進を狙う
- ◆ 事前サービスによるマーケットのリテラシ醸成
 - IEブラウザからのWebアクセス